出光

平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月５日

上場会社名　　出光興産株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5019　　ＵＲＬ　http://www.idemitsu.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）中野　和久
問合せ先責任者　（役職名）経理部ＩＲ室長　　（氏名）橋床　泰治　　ＴＥＬ　03－3213－9307
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	3,157,822	△0.5	55,001	△42.1	50,492	△44.7	16,383	△63.7
24年３月期第３四半期	3,173,630	20.8	95,033	12.1	91,286	6.4	45,106	13.0

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　22,014百万円　（△52.3%）　24年３月期第３四半期　46,144百万円　（26.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	409.70	409.66
24年３月期第３四半期	1,127.95	1,127.94

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	2,660,757	624,997	22.4
24年３月期	2,682,139	614,513	21.9

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　595,221百万円　24年３月期　586,576百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	75.00	－	125.00	200.00
25年３月期	－	100.00	－		
25年３月期（予想）				100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,360,000	1.2	87,500	△36.6	87,500	△34.5	38,000	△41.0	950.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	40,000,000株	24年３月期	40,000,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	10,303株	24年３月期	10,283株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	39,989,694株	24年３月期３Ｑ	39,989,769株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは完了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】Ｐ．３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の国内の石油製品需要は、原子力発電所の稼働数が減少し、火力発電所向けの重油が増加した事に加え、寒波により11月以降の気温が低く推移したことで、灯油需要が大幅に増加したことなどにより、前年を上回りました。

ドバイ原油価格は、期初の120ドル／バレル近辺から６月後半には90ドル／バレル近辺まで下落しましたが、７月以降はイラン情勢の緊迫化などにより上昇に転じました。９月中旬には米国の追加金融緩和が発表されたことから115ドル／バレルを上回る水準となりましたが、その後は軟調に推移しました。これらの結果、４～12月の平均価格は前年同期比1.4ドル／バレル下落の106.7ドル／バレルとなりました。

石油化学製品需要は、中国景気の減速感が強まったことなどにより減少しました。石油化学原料であるナフサ価格は原油価格と同様に下落した後、上昇に転じましたが前年同期比では10ドル／トン下落の963ドル／トンとなりました。

（原油価格、ナフサ価格、為替レートの状況）

	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	増減	
ドバイ原油（ドル／バレル）	108.1	106.7	△1.4	△1.3%
ナフサ価格（ドル／トン）	973	963	△10	△1.0%
為替レート（円／ドル）	80.0	81.0	1.0	1.3%

当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、ほぼ前年並みの3兆1,578億円(前年同期比△0.5%)となりました。

営業利益は、原油価格の下落により在庫評価損が発生したことや、期初の原油価格急落により石油製品マージンが縮小した影響などにより減少し、550億円(前年同期比△42.1%)となりました。

経常利益は持分法投資利益が減少した影響などにより、505億円(前年同期比△44.7%)となりました。

以上の結果、四半期純利益は164億円(前年同期比△63.7%)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

[石油製品部門]

当第３四半期連結累計期間における石油製品部門の売上高は、販売数量が増加した一方で、製品価格が下落したことなどにより、ほぼ前年並みの2兆6,397億円(前年同期比＋0.2%)となりました。

営業利益は、経費削減や合理化などによる増益要因はあったものの、原油価格下落により在庫評価損が発生したほか、製品マージンが縮小した影響などから減少し、315億円(前年同期比△45.4%)となりました。

[石油化学製品部門]

当第３四半期連結累計期間における石油化学製品部門の売上高は、中国需要の伸びが鈍化し販売数量が減少したことや、通関ナフサ価格が下落したことなどにより減少し、3,729億円(前年同期比△3.1%)となりました。

営業利益は、製品マージンは回復傾向にあったものの、販売数量が減少したことなどの影響で、61億円(前年同期比△45.7%)となりました。

[資源部門]

(石油開発事業)

当第３四半期連結累計期間における石油開発事業の売上高は、販売数量が減少したことなどから619億円(前年同期比△7.6%)となりました。

営業利益は探鉱費の減少などにより増加し、218億円(前年同期比＋26.0%)となりました。

(石炭事業・その他事業)

当第３四半期連結累計期間における石炭事業・その他事業の売上高は、石炭市況が低迷したことに加えて、豪ドル高による為替の影響や、販売数量が減少したことなどにより577億円(前年同期比△13.5%)となりました。

営業損益は降雨による生産効率の悪化からコストが上昇したことも影響し、8億円(前年同期比△135億円)の損失となりました。

以上の結果、資源部門は、売上高は1,196億円(前年同期比△10.5%)、営業利益は210億円(前年同期比△30.1%)となりました。

[その他部門]

当第３四半期連結累計期間におけるその他部門の売上高は、2011年６月に株式公開買い付けにより㈱エス・ディー・エス　バイオテックを連結子会社としたことなどから増加し、257億円(前年同期比＋27.9%)となりました。また、営業利益はほぼ前年並みの1億円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産の部・負債の部及び純資産の部の状況

資産の部は、需要期に備えた暖房用燃料等のたな卸資産が増加しましたが、税金等の支払いにより現預金が減少し、連結総資産は2兆6,608億円（前連結会計年度末比△214億円）となりました。負債の部は、有利子負債が前連結会計年度から70億円増の9,268億円となりましたが、未払法人税等や、引当金が減少し、連結総負債は2兆358億円（前連結会計年度末比△319億円）となりました。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,250億円（前連結会計年度末比＋105億円）となり、自己資本比率は22.4％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成24年11月６日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用は、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	171,480	113,297
受取手形及び売掛金	452,348	451,611
たな卸資産	585,579	601,144
その他	122,243	123,591
貸倒引当金	△1,092	△1,035
流動資産合計	1,330,559	1,288,609
固定資産		
有形固定資産		
土地	601,434	597,161
その他（純額）	384,691	396,638
有形固定資産合計	986,125	993,799
無形固定資産		
のれん	32,027	34,590
その他	20,713	19,476
無形固定資産合計	52,741	54,066
投資その他の資産		
油田プレミアム資産	89,018	86,417
その他	224,091	238,301
貸倒引当金	△396	△437
投資その他の資産合計	312,713	324,280
固定資産合計	1,351,579	1,372,147
資産合計	2,682,139	2,660,757
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,490	406,180
短期借入金	353,625	420,317
コマーシャル・ペーパー	14,998	29,997
未払金	272,367	262,185
未払法人税等	25,429	16,058
その他	104,223	92,428
流動負債合計	1,178,135	1,227,168
固定負債		
社債	－	20,000
長期借入金	547,303	453,046
退職給付引当金	24,387	18,738
修繕引当金	25,064	26,032
資産除去債務	31,511	36,102
油田プレミアム負債	92,473	90,745
その他	168,750	163,924
固定負債合計	889,490	808,590
負債合計	2,067,626	2,035,759

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,606	108,606
資本剰余金	71,131	71,131
利益剰余金	288,762	297,339
自己株式	△117	△117
株主資本合計	468,382	476,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	△502
繰延ヘッジ損益	△5,876	△6,216
土地再評価差額金	151,432	150,240
為替換算調整勘定	△28,205	△25,259
その他の包括利益累計額合計	118,193	118,261
少数株主持分	27,936	29,775
純資産合計	614,513	624,997
負債純資産合計	2,682,139	2,660,757

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	3,173,630	3,157,822
売上原価	2,890,675	2,916,331
売上総利益	282,954	241,491
販売費及び一般管理費		
運賃	42,940	43,210
賞与引当金繰入額	1,819	1,983
退職給付引当金繰入額	3,216	2,662
その他	139,944	138,633
販売費及び一般管理費合計	187,920	186,489
営業利益	95,033	55,001
営業外収益		
受取利息	1,408	1,132
受取配当金	1,699	2,912
為替差益	－	1,883
持分法による投資利益	5,719	1,500
その他	2,377	1,152
営業外収益合計	11,204	8,581
営業外費用		
支払利息	11,577	10,725
その他	3,374	2,365
営業外費用合計	14,952	13,090
経常利益	91,286	50,492
特別利益		
固定資産売却益	1,018	1,012
その他	67	119
特別利益合計	1,086	1,131
特別損失		
減損損失	1,355	2,963
投資有価証券評価損	425	334
固定資産売却損	224	382
固定資産除却損	1,609	1,347
事業構造改善費用	3,698	－
訴訟関連損失	1,313	－
その他	138	873
特別損失合計	8,765	5,900
税金等調整前四半期純利益	83,606	45,723
法人税等	36,157	26,293
少数株主損益調整前四半期純利益	47,448	19,430
少数株主利益	2,342	3,046
四半期純利益	45,106	16,383

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	47,448	19,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,122	△1,443
繰延ヘッジ損益	△2,909	△10
為替換算調整勘定	△11,409	4,162
土地再評価差額金	16,208	－
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△123
その他の包括利益合計	△1,304	2,584
四半期包括利益	46,144	22,014
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,060	17,643
少数株主に係る四半期包括利益	1,084	4,371

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	石油製品	石油化学製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,635,083	384,810	133,658	3,153,552	20,077	3,173,630	―	3,173,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,024	1,715	0	2,740	1,563	4,303	△4,303	―
計	2,636,107	386,526	133,658	3,156,292	21,641	3,177,934	△4,303	3,173,630
セグメント利益又は損失（△）	57,646	11,199	29,977	98,823	55	98,879	△3,845	95,033

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。
２．セグメント利益の調整額△3,845百万円には、セグメント間取引消去△1,451百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,393百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要なものはありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	石油製品	石油化学製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,639,680	372,903	119,568	3,132,151	25,670	3,157,822	―	3,157,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,729	1,860	0	3,590	1,222	4,813	△4,813	―
計	2,641,409	374,763	119,568	3,135,742	26,893	3,162,635	△4,813	3,157,822
セグメント利益又は損失（△）	31,496	6,086	20,964	58,546	81	58,628	△3,626	55,001

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。

２．セグメント利益の調整額△3,626百万円には、セグメント間取引消去△1,334百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,292百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。